

# 事前確認に必要な資料チェックリスト

2022年2月15日 赤磐商工会

## 1 全員必要なもの（全て必要です）（3）は①か②のいずれか

- (1) 申請 ID
- (2) 申請 ID 取得時に登録した電話番号 （間違っている方が多いです）
- (3) ①法人の場合 （ア）法人番号 （イ）法人名  
②個人の場合 （ア）氏名 （イ）生年月日

## 2 代表者本人が来る場合 本人確認書類のみ いずれか1つ

- ①「運転免許証（両面）」
- ②「マイナンバーカード（オモテ面のみ）」
- ③「写真付きの住民基本台帳カード（オモテ面のみ）」
- ④「在留カード」「特別永住者証明書」「外国人登録証明書」
- ⑤「身体障害者手帳」「療育手帳」「精神障害者保健福祉手帳」
- ⑥「住民票及びパスポート」「住民票及び各種健康保険証」のいずれか。

## 3 受任者が事前確認に来る場合（以下の書類が全て必要）

- ①【法人のみ】履歴事項全部証明書
- ②代表取締役の本人確認書類の写し
- ③委任状（委任内容、委任者、受任者が明確である限りは書式自由）
- ④受任者の本人確認書類

## 4 確定申告書・決算書の控え及び必要帳簿書類（売上台帳、請求書、領収書等）

- ①確定申告書の控え（以下の表から必要なものをご持参ください。）

### 法人の場合

決算月	基準期間A (2018/11~2019/3)	基準期間B (2019/11~2020/3)	基準期間C (2020/11~2021/3)
1月	• 2018年度 • 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度 • 2021年度
2月	• 2018年度 • 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度 • 2021年度
3月~10月	• 2018年度 • 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度
11月	• <b>2017年度</b> • 2018年度 • 2019年度	• 2019年度 • 2020年度	• <b>2018年度</b> • 2019年度 • 2020年度
12月	• 2018年度 • 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度	• 2019年度 • 2020年度 • 2021年度

### 西暦・和暦対応表

- ①2018年11月（平成30年11月）
- ②2019年11月（令和元年11月）
- ③2020年11月（令和2年11月）
- ④2021年11月（令和3年11月）

H30 R1 R2 R3

個人の場合

選択する基準期間	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
X: 2018.11-2019.3		必要	必要	必要	
Y: 2019.11-2020.3			必要	必要	
Z: 2020.11-2021.3			必要	必要	必要

※基準期間を③2020年（令和2年）11月から2021年（令和3年）3月を選択した事業者は令和3年度の確定申告書が必要。

□②個人事業の場合：青色申告決算書か収支内訳書（通称：白色決算書）

法人の場合：決算書と法人概況報告書（両面）

なお、期間は前述の①確定申告書の控えと対応した期間のものがが必要です。4

□③売上台帳（基準月と対象月）

日付、商品名、販売先、金額の記載が必須

□④売上台帳に記載の売上の根拠となる資料

例えば、通帳、現金出納帳、請求書など

（※売上台帳の記載内容が何を根拠に書いたのかを確認します）

（ア）売上台帳に書いたとおりに並べる

（イ）付箋やマーカーで分かるよう表示しておく

□⑤決算書、法人概況報告書の毎月の売上の根拠資料

青色決算書・法人概況報告書に記載されている月ごとの売上の根拠を確認しますので以下の資料をご用意ください。

（1）総勘定元帳、集計表、試算表などの月ごとの売上の根拠資料を基準期間の5か月と対象月1か月分を用意してください。

（※給付金を計算する月分が必要です。）

※白色の場合は12か月の売上の根拠書類（白色は月毎の記載がないため）

★白色申告も記帳義務化されています（2014年（平成26年）1月以降）

5 □宣誓・同意書 自署してください（代筆厳禁）